



- 1 人を大切にする力
- 2 自らの考えを持つ力
- 3 自分を表現する力
- 4 チャレンジする力

今年度は各学年ごとに学習発表会が行われました！

学習発表会(2年生)

《2年生》発表内容「おもちゃランド」&「おもちゃ会」

2年生は「おもちゃランド」と題して、自分たちでおもちゃを制作し、クラス内の学習発表会として、子どもたち1人1人が、作ったおもちゃをそれぞれ発表しました。発表会の当日は、自分の作ったおもちゃの説明を、①おもちゃ名・②遊び方・③工夫したところ・④注意事項などを中心に行い、実際に遊んで見せるという形で、自分の作ったおもちゃを紹介しました。子どもたちは1人1人、自分の作ったおもちゃがみんなに理解してもらえるように、カメラの前で緊張しながらもとても丁寧に説明することができました。その後、1年生に向けての学習発表会として教室に招待して「おもちゃ会」を開催しました。教室には2年生が作ったおもちゃとその使い方が掲示され、1年生にそれぞれのおもちゃごとの説明を行いながら、5つのコーナーに分かれて1年生におもちゃで楽しく遊んでもらいました。



子どもたちは、身の回りにある段ボール・厚紙・ビー玉・輪ゴム・乾電池・ヤクルト容器等の材料をうまく使って、創意工夫のある楽しいおもちゃを作る経験とそれをわかりやすく説明する経験をしました。まさに、源小の子どもたちに身につけさせたい「自らの考えを持つ力」「自分を表現する力」につながったことと思います。とてもよく頑張りました。

御勅使地区小中合唱交流会が行われました！

11月17日(木)に、白根御勅使中学校で、白根御勅使中学校区小中一貫教育の取組の1つとして、小中合唱交流会が行われました。御勅使中学校では、合唱活動に取り組んでおり、3年生が源小

学校と百田小学校の6年生を招いて、クラス合唱2曲と学年合唱1曲を披露してくれました。3年1組のクラス合唱は「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」、3年2組のクラス合唱は「ヒカリ」、3学年合唱は「群青」で、さすが中学3年生らしい歌声で、低音と高音の響きがとてもすばらしかったです。コロナ禍ですので、体育館で距離をとり、マスクをしたままの発表でしたが、普段から真剣に練習に取り組んでいる成果がとてもよく表れていました。小中一貫のこうした取組を通して中学校の様子を知り、義務教育9年間の見通しを少しでも多く持てるようになることを期待しています。



わかば支援学校とオンラインで4年生が交流をしました！

11月25日（金）の10時半から、4年生がわかば支援学校の4年生とオンラインで交流しました。コロナ禍で直接会っての交流はできませんでしたが、映像を通してお互いに自己紹介や歌の発表をし、楽しい時間を過ごしました。源小学校は、わかば支援学校と長い間交流を続けています。コロナ禍以前は、1年生から6年生まですべての学年で、年2回交流を行って来ました。コロナ禍以降は直接交流をすることができなくなり、1・2年生は作った作品の展示による作品交流を、3年生～6年生はオンラインでの交流を行っています。源小学校の子どもたちに身につけさせたい力として「人を大切にする力」がありますが、普段から学校内で取り組んでいる活動はもちろんこのわかば支援学校との交流もとても大きな役割を果たしてくれています。子どもたちがお互いに相手の個性を尊重したり、相手の立場に立って物事を考えたりと、交流はお互いをとても成長させてくれます。これからも源小学校の子どもたちがより広い視野で物事が見られるようになることを大いに期待しています。

【交流の様子】



【わかば支援学校（小学部）の紹介】

小学部

☆ よりよい生活習慣 ☆

生活リズムの確立と情緒的な安定を図るとともに、食事や排泄、衣類の着脱などを自分で行えるように高め、よりよい生活習慣を育てています。

☆ 人とのかわわりと認識の力 ☆

「国語」「算数」「音楽」「体育」「図画工作」といった教科別の学習では、人やものとのかわわりを広げ、認識の力を伸ばしたり、集団生活に必要なルールを学んだりしています。

☆ 活動への意欲と豊かな感性 ☆

「遊びの指導」「生活単元学習」といった教科等を合わせて行う指導では、体験を通して見通しをもちながら意欲的に活動する力や豊かな感性、情操を育てています。

☆ 段階的な教育課程 ☆

就学から卒業までの6年間を見通した段階的な教育課程を編成しています。